

令和6年度横浜みどり税の使い道について

(単位：千円)

事業名	6年度決算における横浜みどり税充当額
市民とともに次世代につなぐ森を育む	1,827,332
1.まとまりのある樹林地の保全・活用	1,827,332
①緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り	973,785
②良好な森の育成	816,435
③森に関わる多様な機会の創出	37,112
市民が身近に農を感じる場をつくる	154,032
1.農に親しむ取組の推進	154,032
①良好な農景観の保全	67,397
②農とふれあう場づくり	86,635
2.「横浜農場」の展開による地産地消の推進	0
③ 身近に農を感じる地産地消の推進	0
④ 市民や企業と連携した地産地消の展開	0
市民が実感できる緑や花をつくる	809,712
1.市民が実感できる緑や花の創出・育成	477,762
①まちなかでの緑の創出・育成	477,762
2.ガーデンシティ横浜の更なる推進	331,951
②緑や花があふれる地域づくり	61,318
③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成	6,169
④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成	264,464
横浜みどり税充当額計 (A)	2,791,076

・横浜みどり税は横浜みどりアップ計画[2024-2028]事業費の一部に使われています。
・記載されている額は事業費の総額ではありません。
・端数調整により、合計値は一致しないことがあります。

緑地保全制度による指定を進め、樹林地を保全



森のネイチャージームなど、市民が森に関わるきっかけとなるイベントを開催



市民が気軽に楽しめる収穫体験農園の開設支援など農とふれあう場づくりを実施



緑の少ない市街地でも身近に緑や花を実感できるよう、緑豊かな公園を整備



「緑や花でいっぱいの街をつくりたい」という地域の皆様から緑化計画の提案を募集し、その地域にふさわしい緑を創出する取組を支援

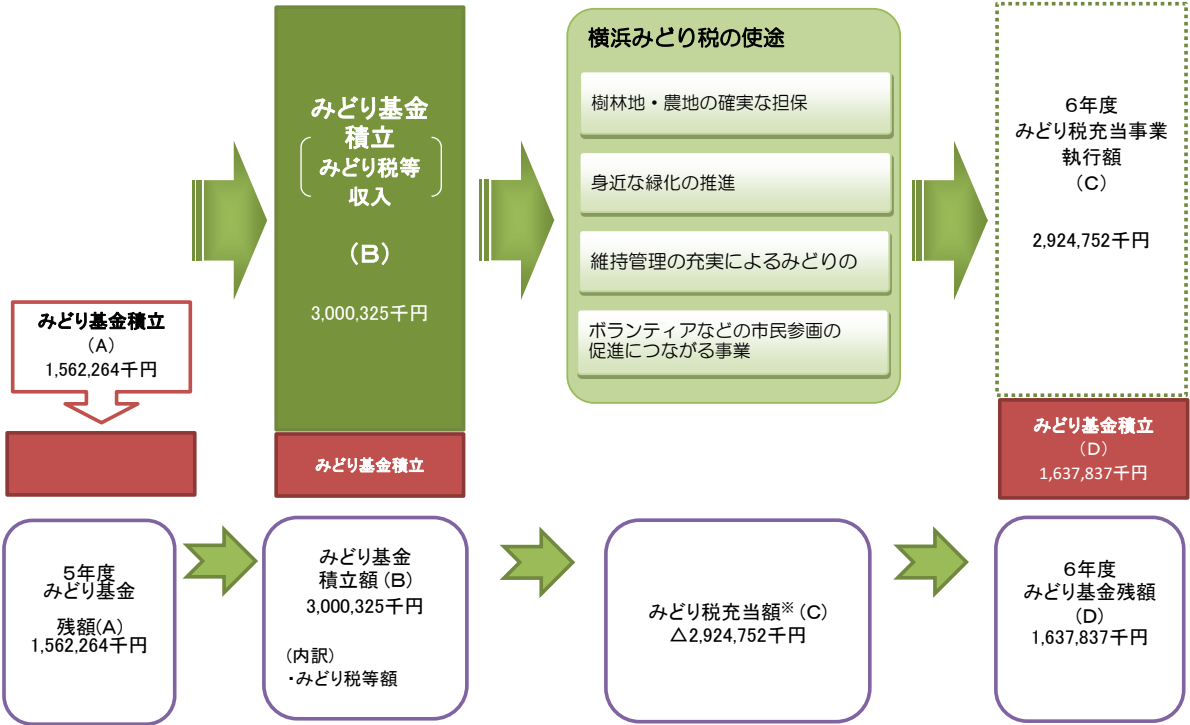


令和6年度横浜みどり税の使い道について

■横浜市みどり基金のしくみ

*横浜市みどり基金について

緑の保全及び創造に資する事業の充実を図るために設置された基金で、横浜みどり税の税収相当額を積み立て一般財源との分離を図ることで、税収の使途を明らかにするとともに、年度間の財源調整を行っています。



※みどり税充当額には前年度からの